

変えよう！杉並区政

杉並区議会議員 杉並わくわく会議代表

松尾 ゆり



わくわくレポート189号
2019.4.26.発行

連絡先：

杉並区下井草1-25-36
tel&fax：03-5930-3181

<駅前大規模開発をストップ

身近なまちの経済を豊かに>

松尾ゆり 当選いたしました

(杉並区議会議員選挙結果)

4月21日に行われた杉並区議会議員選挙の結果、松尾ゆりは3,828票をいただき48人中11位で当選することができました。

私への多数のご支持は、阿佐ヶ谷の開発、西荻窪の開発を止めたいという皆様の切実な思いであり、児童館の廃止や、あんさんぶる荻窪・科学館・公園の廃止など、区民に相談もなく破壊的な政策を強行する区政に対する批判のお声と受け止めています。

3期目の今期は、こうした区政を本当に転換するための力が求められていると思います。いっそう重い責任を痛感しております。

(公選法上、紙面ではお礼を申し上げることができません。どうかご容赦ください。)

<杉並区政のここが問題>

阿佐ヶ谷北口再開発

河北病院の移転改築から始まった話がなぜか杉一小の移転、さらにその跡地の開発にまで広がりました。問題点は大きく3つ。

①「けやき屋敷」の森が消滅する

河北病院の移転先は400年続いた地主さんの森。阿佐ヶ谷の原風景です。区は「できる限り森を残す」などと言っていますが、計画図をみるとほとんど残りません。

②杉一小が病院跡地へ移転

杉一小は3年前に建て替え計画が定められ予算までついていました。ところが、河北病院の移転が発表されると、計画は白紙に戻され、新たな計画では河北病院が移転した跡地に杉一小が移転するとされました。病院の跡地は有害物質による「汚染地」、しかも河北病院の場所は昔、

川や田んぼだったところで「浸水地」です。駅前の一等地にある杉一小と河北病院の土地を交換するなど、区にとって全く不利益なこと。なぜ区長は推進するのでしょうか。

③駅前に高層ビルが並ぶことに

杉一小をどかせ

て区は何をしたいのか。その答えは駅前の再開発です。現在区が提案しているのは駅前に高層ビルを建てるための規制緩和。高さ60m（現在の西友の倍の高さ）のビルが駅前にずらりと並びます。阿佐ヶ谷のまちにはふさわしくありません。

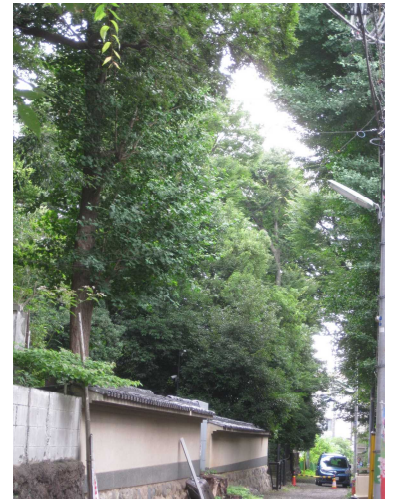
西荻窪駅南口再開発

3月末に突然発覚した西荻窪駅南口再開発計画。小さなお店がぎっしりと並ぶ西荻にしかない飲み屋さん街を一掃してビルを建てるという計画です。まちは不動産ディベロッパーやゼネコンのお金もうけのためものではありません。

子ども政策

保育園がどんどん増えていますが、保育の質は玉石混交。つめこみを解消、余裕のある保育ができるよう区は予算を投じるべきです。

児童館の全館廃止は、遊び場を奪うだけでなく、専門職の児童館の先生や地域の大人が子どもを見守るネットワークも破壊します。虐待防止政策にも逆行しています。



消滅の危機にある
阿佐ヶ谷のけやき屋敷

<区議会開催予定>

第一回臨時会 5月20日

第二回定例会 5月30日～6月18日

どうぞ傍聴においで下さい。ネット配信もあります